



# 糸南小学校 学校だより

特別号  
令和5年10月  
校長 中谷 昭代

保護者の皆様には、日頃より学校の教育活動にご支援、ご協力をいただき、ありがとうございます。今年度も、7月に保護者アンケートをお願いしましたところ、回答いただきありがとうございました。

児童アンケート、保護者アンケートの集計結果を下記のとおりまとめました。

※児童アンケート



A：よくあてはまる B：だいたいあてはまる C：あまりあてはまらない D：まったくあてはまらない (%)

	令和5年度7月 学校評価(児童アンケート)結果 (%)	昨年12月 A+B	A+B	A	B	C	D
1	学校が楽しいですか	97	96	72	24	3	1
2	授業はわかりやすいですか	98	95	69	26	4	1
3	クロームブックを使った授業はわかりやすいですか	97	96	77	19	3	1
4	授業では、考えるのが楽しいですか	90	88	51	37	10	2
5	授業で発表できていますか	73	74	44	30	21	5
6	先生や友だちの話をしっかり聞くことができましたか	97	97	71	26	2	1
7	対話での学びを手がかりにして、課題に対する自分の考えを、自ら書くことができましたか	/	89	58	31	8	3
8	まちがえたところは、できるまでねばり強くがんばりましたか	92	93	65	28	6	1
9	授業中の姿勢に気をつけていますか	84	87	48	39	11	2
10	読書をしていますか	78	80	55	25	17	3
11	家では、宿題をふくめて「学年×10分」勉強していますか	88	87	59	28	10	3
12	自学ノートで予習や復習をがんばりましたか	86	79	44	35	18	3
13	「先あいさつ」をしていますか	92	93	70	23	6	1
14	ろうかを正しく歩いていますか	98	97	69	28	2	1
15	時間を守って行動していますか	99	96	71	25	3	1
16	みんなのために、委員会活動や係活動を自分から行うことができましたか	/	94	67	27	5	1
17	学級での話し合い活動にすすんで参加していますか	86	89	55	34	9	2
18	体を使ったあそびや運動をしていますか	87	91	74	17	7	2
19	人のいいところをすすんで見つけていますか	87	89	61	28	7	4
20	人の弱みや失敗を責めず、励ましたり助けたりしていますか。	93	92	65	27	6	2
21	そうじの時間は、無言で時間いっぱいそうじをすることができますか	94	94	66	28	4	2
22	「早寝・早起き・朝ごはん」ができていますか	/	89	64	25	6	5
23	ネットサミットで決めたスケジュールを守っていますか(インターネットやゲームをする時間を決めて)	89	90	58	32	8	2
24	こまったことなどがある時、先生は話を聞いてくれますか	98	95	81	14	3	2
25	がんばった時、先生はほめてくれますか	95	97	81	16	2	1

「A+B」の割合で見ると、25項目中15項目が90%以上であり、8項目が80%台で、2項目が80%に達していないという結果でした。「学校が楽しいですか」の項目では、A評価を全国学力・学習状況調査で全国と比べると+22.2%、県で比較すると+25.4%と高い割合となっています。ただ、あまり楽しくない、楽しくないと答えた児童が7%です。個人面談や「友だちアンケート」を実施し、一人一人を大切にしたい対応を引き続き継続していきます。

「授業中の姿勢に気を付けていますか」の項目では、A+Bの割合は昨年度より3%向上しました。教職員全員で意識して指導してきました。特に足の裏を床にしっかり着けて座ると集中力も増すことを引き続き児童に伝え、「ペタン」を合言葉に、なぜ正しい姿勢がよいのかも理解させながら指導していきます。また、「授業で発表できていますか」の項目では、A+Bで74%となっていますが、A評価は44%でした。今年度は「対話の目的を児童と共有し、対話したことで書く力の向上を図る」ことを大切にして授業を行っています。今後も児童がペアや小グループで話し合うことで、「わかった」「できた」につながる授業づくりに努めていきます。「家庭学習の取組」にも課題が見られます。「ネットサミットで決めたスケジュールを守っていますか」の項目では、昨年度から年々A+Bの数値は上がってきていますが、津幡南中学校区ではゲームの時間は学習の時間より多くならないように呼び掛けています。小中一貫の「スケジュールを作成し、全員で協力して取り組む」の一つとして自主学習の取組を今まで以上に奨励していきたいと思っております。規則正しい生活を送る上でも引き続きご協力お願いいたします。

※保護者アンケート

A：よくあてはまる B：だいたいあてはまる C：あまりあてはまらない D：まったくあてはまらない (%)

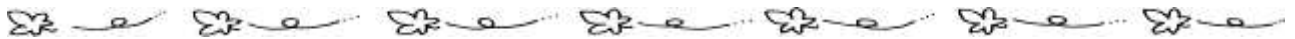
保護者アンケート集計表						
No.	評価項目	A	B	C	D	A+B
1	子供は、学校へ行くのを楽しみにしている	36	55	7	1	91
2	子供は、家庭や地域であいさつをしている	36	51	11	1	87
3	子供は、授業が分かりやすいと言っている	34	58	8	0	92
4	子供は、先生の指導をきちんと聞き、守っていると言っている	46	48	5	0	94
5	子供は、交通事故や不審者から身を守るための行動ができています	37	55	8	0	92
6	子供は、宿題も含めて、「10分×学年」の家庭学習をしている	31	43	23	4	74
7	子供は、家庭で平日読書（水曜日を中心に15分）や週末読書を行っている	11	26	38	25	37
8	学校は、お便り、ホームページ、ノート等で学校の様子が分かるようにしている	39	56	4	1	95
9	学校は、学力がつくように指導している	31	61	7	0	92
10	学校は、生活のきまりや社会のルールを守る態度を育てている	45	53	2	0	98
11	学校は、いじめを見逃さない学校づくりに取り組んでいる	28	58	12	2	86
12	学校は、子供が安全に過ごせるよう指導している	44	53	2	0	97
13	学校は、運動に親しむ工夫や健康・体力の向上に取り組んでいる	42	53	5	0	95
14	学校は、相談や提言に誠実に応えようとしている	40	53	5	2	93
15	先生は、子供の困ったことや悩みに対して相談にのっている	39	54	6	1	93
16	先生は、子供の頑張りや能力の伸びを適切に認め励ましている	45	50	5	0	95
17	先生は、子供の間違っただ言動をきちんと指導している	42	54	4	0	96
18	家庭では、子供は「早寝・早起き・朝ごはん」をしている	40	46	13	1	86
19	家庭では、学校が配っているプリントやカードを読んだり点検したりしている	44	50	5	0	94
20	家庭では、ゲームやインターネットに関する南中校区のルールを守らせている	24	50	23	3	74

学校での様子では、A+Bで概ね9割を超えています。学校ではこれからも「分かりやすい授業」を心がけ、学力がつくよう力を入れて指導していきます。「授業が分かりやすい」はA+Bでは92%となっているものの、A評価をさらに増やすため、今後も分かりやすい板書やモデルを示したり、対話を活性化させたりして、児童が「なるほど」「分かった」となる授業をさらに工夫していきます。

また、「学校へ行くのを楽しみにしている」「家庭や地域であいさつをしている」の項目ではA+B評価がそれぞれ91%、87%となっていますが、これらの項目についてもA評価をさらに高めていきたいです。特に「学校へ行くのを楽しみにしている」という項目は、子どもたちの心の状態を表しています。今、ウェルビーイング（幸福感）という言葉が使われるようになってきました。学校でのウェルビーイング（幸福感）を深化させるにはまず、一人一人が「今が楽しい」となり、さらに「これからが楽しみだ」「クラスや地域がみんな幸せに」「学校や地域をよくしたい」へと徐々につながっていきます。学校が、「できた」「分かった」「成長した」という実感を持つことができる場であれば、自然と望ましい姿に近づいていくと思っています。

また、「いじめを見逃さない学校づくり」にも取り組んでいきます。いじめを起こさせない、いじめを見逃さないために基盤となる学級の間関係づくりに努めるとともに、いじめにつながる行動には早期に対応していきます。

読書については心を育て読む力や考える力の基盤を養う大切な活動です。学校では読書指導計画に基づいて授業でも計画的に読書活動を取り入れています。昨年度から平日読書や週末読書で本を家に持ち帰った際、「わたしのほんだな」の冊子に感想を進んで書くよう声掛けをしています。また、図書ボランティアさんによる読み聞かせも読書へのきっかけとなっています。継続して取り組んでいくことで読書が習慣化され、学校でも家庭でも自然に本を手取る子どもたちになっていくようにご協力をお願い致します。



このアンケートを通して貴重なご意見をいただきました。今後の学校運営の参考にしていきたく思います。保護者アンケートに限らず、困ったことや気になること等がありましたら、学校までお知らせくださるとありがたいです。今後も、ご支援ご協力をお願いします。

令和5年9月21日(木)学校評議員会を開催し、前期学校評価結果についてご意見を頂きました。(抜粋)

#### 【宿題について】

- ・自分の家庭でいうと、学年×10分がしていないように感じる。最低限の宿題をしている感じです。ゲームやネットなど他に楽しいことがどうしても多すぎる現状がある。
- ・スマホをもつ割合が増えると、比例して学習が減る。
- ・宿題のドリル学習を無くし、タブレット端末を活用した自主的学習を促してはどうか。そうすることで先生方の点検もなくなる。自分がやりたい、学びたいことを学習し、その成果を学校で発表する。自分で考えさせて、好きなことをさせることで自主性が生まれる。自学で勉強してきたことを発表させることによって評価もできる。好きなこと、興味をもったことを自分で調べて、自分で取り組み、発表する。いい取り組みだと思う。

#### 【地域とのかかわりについて】

- ・旗持ち当番で「返事がない。悲しい。」とあるが、渦端地区の子供たちはみんな挨拶を返してくれている。保護者の方からあいさつをしない限り、自分からしない限り挨拶は返ってほこない。しつこいくらいにしていかなければ身につかない。
- ・あいさつは、大人が教える。あいさつは子供からという時代ではない。こちらから声をかける等、挨拶を教える必要があると思っている。こちらからして返してこいよぐらいの気持ちで。
- ・家庭での普通の挨拶が大切だと考える。家庭でできないと外ではしないですね。挨拶をしないと次の対話が生まれません。
- ・地域の方とのかかわりを大切にしていきたい。棒振り、笛吹き姿を低学年が見ることで、憧れ、私もやってみたくつながりを増やしていきたい。
- ・子供が大人を連れて地域行事に参加する。このようなサイクルを回していくことで、つながりが生まれ地域とのかかわりが深まっていくと思う。